

2. 教育・・・音楽遊び

乳幼児の五感の発達のため、聴覚・視覚・触覚を中心にした乳幼児とママの音楽遊びのプログラムを用意しました。リトミックとオルフ・シュールベルクを組



自由に遊ぶ。奥は音楽遊びの先生と

み合わせて、音楽の楽しさを通して子どもたちの感受性や創造力を養っていくことを狙っています。同時にママにも同じことをしていただき、TVなど電子音楽に安易にまかせない、本当の音楽の楽しさを味わっていただきます。

3. 健康・・・食事と栄養

飽食時代の母子、手作り料理の第一歩は、離乳食からです。そこで、離乳食講座を用意して、実際にキッチンで料理をして、母子で食事する機会を設けています。これをきっかけにママには、手作り料理の楽しさを味わって

いただき、幼児期以降の食生活を大事さを考えていただきます。これがママにとっ

自由にお弁当を持ち込んでも食事ができるスペース



での、食事と栄養に配慮した食育のスタートです。

4. 家族支援・・・こころの健康

ママ離れできない子ども、一人で遊べない子ども、しかし、家では聞けないママのリラックスした会話（声）を聞くと安心して子どもは遊びだします。これも子育てカフェ半年間で気がついたことです。産後うつ病などではなくても、日々ストレスの溜まる育児中のママの独り言や何気ない夫婦の会話など、家庭内の親の声に子どもが安心できないことが多くはないでしょうか。そこで、子育ての悩みは勿論、パパも含めた家族という視

点から、家族のこころの健康のお手伝いをしていきます。さらに一歩進んで、これからの家族生活をどうしていくのか、保育から働き方も含めた総合的相談もできる体制をとっています。

ワンストップサービス拠点として

上記の4つの柱を当面の活動としてシュアスタート目黒を始めました。そこでワンストップサービス拠点として、第1に365日体制をとっています。土日オープンして多様な働き方に対応しています。土日が休日でないパパも大勢いることもわかりました。また、平日保育所に預けている母子も気軽に利用できるようにしています。行政の対応では難しいところを、民家開放の利点を活かし、年中無休を実践しています。第2は、情報受信・発信拠点の役割です。行政情報だけでなく地域情報を受信して、子育て家庭の情報バンクをめざしています。そして、気軽に話ができることに配慮した、専門スタッフによる個別相談を随時行なっています。

これからの展開と課題

冒頭でもお話したように、一見普通の家族こそ問題意識を持たない分、そこには大きな問題を抱えていることが見えてきました。行政ではなく、民間で行なうシュアスタートの意義はここにあります。また、これが目黒版の特性です。そのためには、日々の子育てカフェから、親子が発するちょっとしたシグナルを見逃さないということが大事だと思っています。

そして、問題を大上段に意識せず、しかし着実に一歩ずつ問題解決に向かっていく家族が増えていくことを願っています。これこそが、シュアスタート、すべての子どもたちにとってのはじめの一歩になると思います。

子育てカフェ・じいじの家

- ・10月より「ほっとサンド」から名称変更しました
- ・東横線学芸大学駅東口 徒歩5分
- ・目黒区鷹番 2-15-5
- ・連絡先 03-3713-3968
- ・<http://hermitage-takaban.com/>
(尚10月中旬じいじの家専用のホームページ開設の予定です)
- ・営業案内
年中無休；午前10時～午後5時
2歳未満のお子さんと家族；利用料1組500円
(3時以降200円、パパと一緒300円)